児童に見られるつまずき

　目的や表現の仕方の関係を考えて文章を書くことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　書かれている事柄の違いや表し方の工夫について話し合い、違いを分かりやすく板書に整理することで、目的や意図に応じた取り上げ方の違いや表し方の工夫に気付くことができるようにする

指導事例集ｐ．６５

１　学年・単元名　　第４学年　広告大賞を目指して、夢の○○商品の広告を作ろう

「広告と説明書を読みくらべよう」（書くこと領域）

２　単元目標

　　　目的に合わせた表現の違いに気をつけながら２つの文章を読み、その違いをまとめ、目的と表現の仕方の関係を考えて広告を書く。

３　単元の内容

　　・目的と表現の仕方の関係を考えて、広告を書くという単元の見通しを持つ。

資料：掲示物

　　・広告と説明書それぞれの目的に応じた表し方の工夫や違いを、キーワードを使ってまとめる。

資料：ワークシート①②

　　　記入済みワークシート

・目的と表現の仕方の関係を考えて広告を書く。

　　・広告を交流し合い、単元を振り返る。

４　本時の目標

広告と説明書を読み、それぞれの事柄の取り上げ方の違いを理解することができる。

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導・支援の留意点と評価（☆）  **太字：つまずきに対する手立て** |
| １．学習課題を知る。  「広告」と「説明書」に書かれていることがらのちがいを見つけよう  ２．広告と説明書に書かれていることがらを発表する。  書かれていることがら  　　広告  ・キャッチコピー  　　説明書  　　・各部の名前  　　・安全に使うための注意  　　・体温をはかるための注意  　　両方  　　・商品名  　　・商品の特ちょう  ３．なぜ違いがあるのかを考える。  ４．キャッチコピーを考える。  　　一人学び  　　　↓  　　ペアトーク  　　　↓  　　発表  ５．本時を振り返り、次時の予告をする。 | ・本時のめあてを確認させる。  ・広告と説明書の書かれていることがらの違いを読み取っていくことを確認する。  ・ワークシートにまとめた、気がついたことを発表させる。  ワークシート①使用  記入済みワークシート参照  ・自分の考えと比べながら聞くよう声かけをする。  **・それぞれに書かれていることがらが比較しやすいように整理して板書する。**  ・気づいたことを発表させる。  ・比較して、違いが分かりにくい時は、こちらから問いかけて気づかせたい。  ・それぞれの事柄の目的が分かりにくい児童には、前時にまとめた広告と説明書の役割に着目させる。  ・まとめ方がわからない児童にはワークシートを活用させる。  ワークシート②使用  ・状況に応じてペアトークをさせる。  ・広告と説明書の書かれている事柄の違いをまとめる。  ・**板書や掲示物を見て、広告（キャッチコピー）の目的と関連させて書かせる。**  ・ＩＣＴ機器を活用してまとめさせる。  ・なぜそのようなキャッチコピーにしたのか、理由を考えさせる。  ・次回は、言葉の使い方や説明の仕方などについて、違いを確かめていくことを伝え、意欲を持たせる。  ☆広告と説明書について、目的による表し方の違いを理解している。  （C読む（１）イ：ワークシート） |

６　つまずきの解消に向けて

（１）単元における予想されるつまずき

　　①単元内のつまずき

　　　・広告と説明書のそれぞれの事柄の取り上げ方をはっきりさせること。

　　　・取り上げられている事柄の違いを理解してまとめること。

　　②これまでのつまずき

　　　・目的や必要に応じて、理由を挙げて書くこと

　　　・２つの文章を読み比べて、違いや工夫に気づいて文章を書くこと

（２）つまずき解消に向けた指導上の留意点

・広告と説明書が読み手にとって何が大切な情報かを考えさせる。

　　　・違いを分かりやすく板書し、キャッチフレーズの目的を確認させながら書かせる。

　　　・それぞれの文章に書かれている事柄について分かりにくい項目については、ヒントや個別指導を行い、事柄を整理しやすくする。